

所管事務調査報告

9月定例会において、7月14日・15日に実施した所管事務調査の報告が両常任委員長からありました。



四区小規模治山事業



雄鎮内麦乾施設



事務調査

滝上町国民健康保険病院の経営状況について

総務文教常任委員会

国保病院の平成26年度末医業収支については3億1千5百万円の損失となりました。損失額が多大になつた要因としては、夜間体制の不備に伴う診療報酬の格下げによる医業収益の大幅な減少によるものであります。

夜間診療・在宅訪問診療は休止したままになつており、町民にとっては深刻な状況です。このような問題が二度と繰り返されないような施策をとることが重要であり、診療体制の整備が病院経営の改善につながるものと考えます。

具体的には、在宅訪問診療の再開を第一に取り組むべきと提言します。また、病院運営委員会を今以上に積極



平成26年度末の畑作農家における戸数は23戸・生産総額が2億6千万円となつております。今後は戸数及び生産の減少が予想され、後継者対策と農地対策を同時に進めていかなければならぬ状況になります。

町民がいつでも安心して病院を利用できるよう、今後も精力的に取り組み解決されます

よう強く望むものであります。畑作農業における生産性の向上や魅力の発信・農地対策等について、農業委員会や関係組織とともに



ホテル渓谷は、障がい者等の対策（バリアフリー化、介助犬対策等）が公共の施設として義務付けられています。しかし、十分な対策が施されていません。ホテル及び町の評価にも影響する問題だと捉えておりますので、法律で義務化されているものは速やかに取り組む必要があると提言します。

①畑作農家対策について

産業建設常任委員会

②ホテル渓谷の施設整備について